

将来像実現に向けた方針のまとめ

将来像(コンセプト)

集い つながり 豊かに育つ
みんなのリビング“にしはらの杜”

三中エリア構想に掲げるコンセプト「集い」「つながり」「豊かに育つ」「みんなのリビング“にしはらの杜”」それぞれの言葉に込めた思いから、将来像(コンセプト)を実現させるための方針について話し合い、以下の通り意見をまとめました。

■コンセプト「集い」を実現させるための意見(要約)

- ・多様な人が集まり交流できる利用しやすい施設にしたい
- ・歩行空間や周辺道路の整備によって、学校に集まりやすい交通網をつくる
- ・電柱がなく安全で歩きやすい歩行空間を確保する
- ・誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりと、使いやすさを重視した仕組みを確立する
- ・飲食等ができる交流スペースを設けたり、お祭り等のイベントを開催するなど、人が集える施設にする
- ・セキュリティにも配慮した建物配置と警備体制を目指す
- ・バス路線拡充による利便性の向上を図る

■将来像実現に向けた取組方針「集い」

利便性と安全性を備えた集える拠点を目指す

- 利用しやすい仕組みを整え、気軽に立ち寄り、交流できる空間づくり
- 拠点施設へ安心・安全に集まれる交通・ネットワークの形成

■コンセプト「つながり」を実現させるための意見(要約)

- ・西原総合教育施設など将来的に空地と想定される跡地には、各種スポーツができるグラウンドと、多世代がつながり、くつろげる機能を備えた居場所、多様な人が集まって利用できる場所を目指す
- ・良好な住環境の確保に努める
- ・将来の少子高齢社会も見据えた道路整備と施設建物設計を行う
- ・誰もが使いやすくセキュリティ面でも安心できる入室管理システムにする
- ・道路拡張や、防災設備の強化による防災対策を行う
- ・生活利便施設等の適切な配置や、地区計画策定と規制緩和、助成制度策定などを通じて団地の再生に取り組み、ファミリー層増加によるまちの活性化を目指す



■将来像実現に向けた取組方針「つながり」

顔と顔が見える関係づくりを通じ、コミュニティ形成と防災の向上を目指す

- 拠点施設での交流等を通じて、地域に世代を超えたつながりを育む
- 誰もが安心して暮らせる地域を見据えて防災強化を図り、地域の良好なコミュニティを築く住環境を確保

■コンセプト「豊かに育つ」を実現させるための意見(要約)

- ・サークル活動のように防災対策を進めていく自助、共助の輪をつくる
- ・西原総合教育施設の跡地はグラウンドとし、三中の第二グラウンド的機能も持たせる
- ・けやき保育園、西原北児童館の跡地はスポーツ等を通じて、子供から大人まで成長できる場として活用する
- ・将来像を「子どもたちの成長」と限定せず、全世代が豊かに育つイメージにしたい
- ・親や子どもの居場所を確保し、子育て世代を支援できるエリアとして、まちづくりを実現する
- ・保育園児が自由に外あそびできる環境を整備する
- ・将来の少子高齢社会にも対応した機能を検討



■将来像実現に向けた取組方針「豊かに育つ」

文教ゾーンの特性を活かした多世代での学びを目指す

- 多種多様な相談支援・行政サービスや居場所を提供し、自分らしく成長し続けられる環境づくり
- 文化・スポーツ等を通じた子どもから大人までの多世代が成長を続けられる仕組み

■コンセプト「みんなのリビング“にしはらの杜”」を実現させるための意見(要約)

- ・地域の人がみどりに親しみ育てる環境をつくる
- ・木造校舎、太陽光発電、菜園、植樹など、学校施設を自然豊かで生産的な環境にする
- ・カフェや屋台など人が集まりやすい環境の場所にする
- ・誰でも気軽に立ち寄れる雰囲気づくりと、安心できるセキュリティ体制を両立させる
- ・農地やみどりの保全のため行政と市民の協働できる仕組みづくりを推進する



■将来像実現に向けた取組方針

「みんなのリビング“にしはらの杜”」を実現させるための意見(要約)

みどりと調和した拠点を創出し、安らげる空間を目指す

- 自然豊かで居心地の良い環境づくり
- みどりの中心地を考慮した拠点整備を検討